

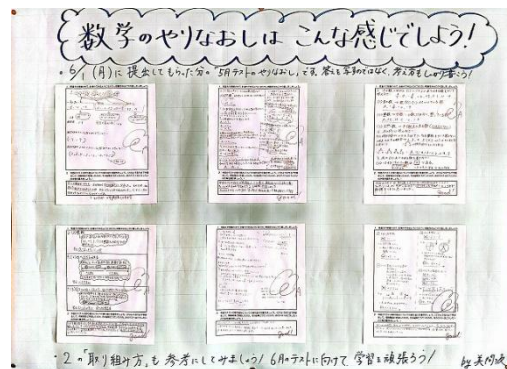


『We ♥ 鏡中』

令和 8年 6月11日

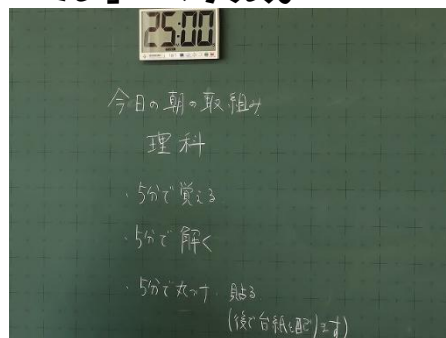
☆テストの前の勉強も、テストの後の勉強も大切

1年生の3F 渡り廊下に右の掲示物が張ってあります。テストの前に一生懸命勉強することも大切ですが、特に校内の定期テスト等はテストの後にどのくらい充実した勉強（テストのやり直し等）をするかで、学力の伸び方が変わります。同じ範囲のテストを受けたら満点が取れるくらいテストの後にしっかり勉強することが大切です。右の写真の数学のやり直しで提出したプリントも評価対象だと思います。指導したことが評価につながり、評価することが指導につながるように今後も工夫したいと考えています。



☆朝の時間の取組でも「アクティブリコール」の実践

今日（6/11）の1年生では、テスト範囲の「動物の分類」のプリントを使って「アクティブリコール」の実践（5分で覚え、5分で解いて、5分で〇つけ：右の写真はこのことが書かれた黒板です）でした。わずか15分の取組ですが、これが全て出来れば、テストでそれなりに点数が取れるようになります。テストの前にどのくらい真剣にインプットし、それをアウトプットする訓練をして、アウトプット出来ないことを出来るようになるまでやり直すということをするかで、取れる得点は変わってきます。なぜ社会の中で、入試等のテストの点数が重視されるかといえば「点数が取れる」＝「新たな知識・技能を身に付けることが出来る可能性が高い」と推測されるからだだと思います。「アクティブリコール」は、それを身に付ける良い方法です。ペーパーテストだけでなく、技術を身に付ける時も同じです。学び方を学んでほしいと思います。



【下の2枚の写真は、2年生の朝の取組で「アクティブリコール」の実践をしているところです】



プリントの左半分には書かれている内容を5分で覚え、覚えたら半分に折って左側を隠し、右側の白紙部分に書き出す（アウトプットする）訓練「アクティブリコール」の実践です。アウトプットできなかったら何度もやり直すことで、この内容を身に付けることが可能です。急がば回れで、見ないでアウトプット出来るようになれば、大概のテスト問題に対応できるようになります。10の努力をして1の結果が得られる努力より、10の努力で100の結果が得られる努力が良いと私は考えます。「アクティブリコール」の取組は、その方法の一つだと思っています。